

『地域産業の担い手育成プロジェクト(ものづくり分野)』

平成19～21年度



栃木県

- ・事業実施機関 … 栃木県教育委員会、財団法人栃木県産業振興センター
- ・連携省庁 … 経済産業省中小企業庁
- ・モデル校 … 栃木県立足利工業高等学校、栃木県立那須清峰高等学校

事業概要

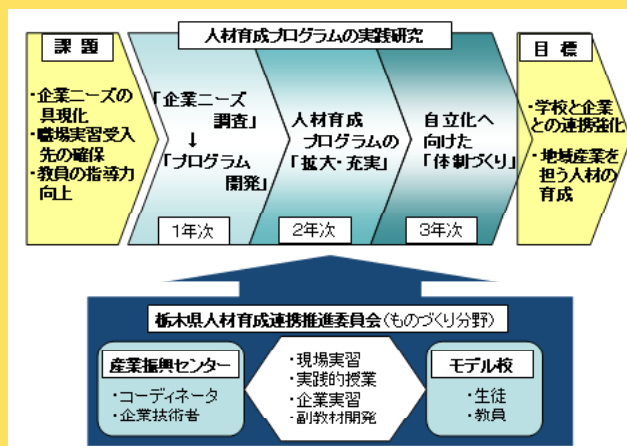
ものづくりを支えるスペシャリスト及び産業界のニーズに応じた職業人を育成するため、工業高校と地域産業界が連携して、ものづくり人材の育成を図り、県内中小企業の技術の高度化や新産業の創出を促進する。

具体的には、当該地域・学科の特色等に応じた、ものづくり人材育成のための教育課程編成や、専門高校と地域産業界の連携方策を検討し、地域産業界のニーズを踏まえた実践的な「ものづくり人材育成プログラム」を開発する。

事業目標

「企業ニーズ調査を踏まえた育成すべき人材像」

- (1)「専門知識・技術」を習得した人材
 - ①CAD/CAMの操作技術
 - ②測定機器の取扱い技術
- (2)「社会常識・マナー」を身につけた人材



事業内容と成果

【生徒の企業実習】

○研究のねらい

- ・生徒に一流の技術・技能を肌で感じさせ、ものづくりのすばらしさをアピールする。
- ・3学年では、実習期間10日間の「デュアルシステム」を実施し、高度な技術習得を目標とする。

○研究成果

- ・専門的技術者に直接技術指導を受けることにより、著しい技術の向上が見られ、専門的技術・技能の習得を図ることができた。
- ・校内に整備されていない施設・設備を使用した実習も多く、生徒の企業実習に対する関心が高まった。
- ・職場でのコミュニケーションの重要性や、仕事に対する責任感を身につけることができた。



【企業技術者等による学校での実践的指導】

○研究のねらい

- ・高度技術者による講話や、高度熟練技術者による技術指導を充実させる。併せて、技術指導用の副教材を作成する。

○研究成果

- ・生徒は技術を模倣し、自分の技術力を向上させようと、非常に意欲的である。
- ・学校で実施することにより、多くの生徒に専門的技術・技能を効果的に習得させることができた。



【作成した副教材】



【教員の企業実習】

○研究のねらい

- ・教員が企業内で高度熟練者から、技能検定2級レベルの技術指導を受けることで、スキルアップを図り、学校での指導に還元する。

○研究成果

- ・機械操作や工具・測定等の方法について、教科書等にはない実践的な技能・技術等を習得できたため、教員の指導力が向上した。
- ・最新の設備・技術および、安全教育など企業の特徴を活かした事業内容について、理解を深めることができた。



【企業との共同研究】(校内5Sパトロール)

○研究のねらい

- ・共同研究を通して、企業レベルの「品質管理」や「安全指導」を理解する。

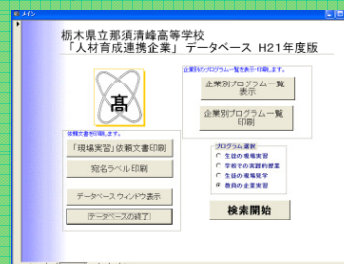
○研究成果

- ・各教室や実習室での5Sの実践および継続的な活動を行い、5Sについて理解を深めさせ、5S推進への意識の高揚が図れた。



【連携企業データベースの作成】

今後の人材育成支援ツールとして、3年間の実践で築きあげた貴重な資産をデータベース化し、協力企業名や連絡先、実践内容が瞬時に表示できるソフトを作成した。



連絡先

■栃木県教育委員会事務局学校教育課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埜田1-1-20

TEL 028-623-3382、FAX 028-623-3399

URL <http://www.pref.tochigi.lg.jp/kyouiku/index0.html>

■財団法人栃木産業振興センター

〒321-3224 栃木県宇都宮市刈沼町369-1

TEL 028-670-2603、FAX 028-670-2611

URL <http://www.tochigi-iin.or.jp/>